

目次

I. 総合研究報告書

我が国における公衆衛生学的観点からの健康診査の評価と課題-----	1
和田 高士	

II. 研究代表者による個別研究報告

・健診・検診に関する用語に関する再考 -----	26
・人間ドックの主要検査・システムの健康診査として満たすべき要件等の検証-----	29
(32 ページ資料 URL リンク表)	
・任意健診でのオプション検査に関しての健康診査としての要件等に関する検討-----	57
(59 ページ資料 URL リンク表)	
・任健健診としてのミニマムプログラムの作成-----	78
(あ) 海外の健診実態調査	
・世界の任意健診の状況 -----	83
(い) 国内の健診実態調査	
・国内で行われている健康診査の現状と国際比較-----	144
(資料 URL リンク) 表 1 : pp160、表 2 : pp170、表 3 : pp193, 表 7 : pp203、表 8 : pp205、表 9 : pp213	
・人間ドック実施施設の地理的分布・加盟団体状況、健診・検診・保健指導実施状況-	221
・自治体による法定外健診・検診を中心とした提供・住民負担金アンケート全国調査-	228
(う) 任意健診の特性	
・人間ドック受診者の特性からみた保健指導への提言-----	253
・人間ドック受診者と特定健診受診者との健康状態の比較-----	298
・人間ドック受診者の治療状況からみた人間ドックの意義-----	312
・がん発見の経緯における「健診・人間ドック」の位置づけ-----	334
・受療行動調査結果からみた健診・人間ドックの意義と重点疾患-----	343
・主観的健康感を指標とした人間ドック継続受診の意義-----	350
・中高年者縦断調査からみた継続して人間ドック受診することの位置づけ-----	355
(え) 任意健診の問題点	
・健診データ標準化のための健診標準フォーマット作成-----	359
・人間ドックにおける医療面接のありかた-----	364
・人間ドックの結果報告書のありかた-----	373
・要治療者における一般健診に対する人間ドックの優位性-----	380
・人間ドック健診専門医の優位性-----	383

・学会主導の人間ドック健診機能評価システムの優位性-----	386
・人間ドック判定区分・指導マニュアルの作成-----	389
・人間ドック施設におけるがん集計の円滑化-----	394
・健診・人間ドックに関する集団の健康や費用対効果、死亡率に関する報告のレビュー-----	398
(お) 健診・検診項目の問題点	
・法定健診項目の問題点-----	403
・日本での健診・検診検査項目に関する US Preventive Services Task Force の評価-----	414
・日本の健診・検診の検査項目に関する国際的学術団体の評価-----	420
・First WHO model list of essential in vitro diagnostics と任意健診項目の関係-----	441
・障害調整生存年と健康寿命の損失年数からみた任意健診の検査項目の候補-----	447
・厚生労働省「患者調査」報告からみた任意健診での検査項目の選定-----	452

III. 分担研究報告

1. 腹部超音波診断精度管理検証	
腹部超音波検診判定マニュアル改訂版および英語版の作成-----	456
平井都始子	
2. 国内外のがん検診の実態調査-----	480
祖父江友孝	
3. 国内外の職域健診の実態調査と人間ドックの関係-----	484
立道 昌幸	
4. 検診・人間ドックにおける眼科検査の評価と課題-----	491
中野 匡	
5. 新潟県の人間ドックデータを用いた慢性腎臓病、心房細動の有病率の検討-----	506
ならびに随時尿を用いた推定塩分排泄量の検討	
加藤 公則	
6. 人間ドックにおける法定外（オプション）検査に関する研究-----	519
杉森 裕樹	
7. 我が国における公衆衛生学的観点からの健康診査の評価と課題-----	529
後藤 励	
8. 人間ドック受診者データベースを活用した人間ドックの優位性の評価-----	539
川野 伶緒	

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表-----	544
-------------------------	-----